

授業科目	内科学1	2 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		作業 理学	必修 必修

科目担当責任者	齋藤重幸 (保健医療学研究棟 E203 号) e-mail : ssaitoh@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	2 年前期で開講される内科学1 は、内部障害の原因となる内科疾患の理解を目的に開講する。内部障害とは WHO により提唱された国際障害試案の機能障害に属し、心臓、呼吸、腎尿路、消化などの内部機能障害の総称と定義されている。我が国の身体障害者福祉法では、心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸機能障害、膀胱直腸機能障害、小腸機能障害、HIV による免疫機能障害、肝機能障害の7 つを内部障害(内部機能障害)と規定している。この科目では、内部障害の原因となる各臓器系の基礎疾患を学ぶことにより、内部障害理解の一助とする。講義では主な内科疾患の病態、診断、治療の理解を図る。特に生活習慣関連疾患の重要性を鑑み、栄養、運動、各種嗜好との関連において各種疾患の病態、管理の理解を深める。また、治療での薬物使用に際しその薬理メカニズムを知る。また学部学科学生の今後の履修の基盤となる各種病態・疾患におけるリハビリテーションの意義を QOL との関連も含めて言及する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器系における機能の仕組みとその障害について理解し、その治療法の原理を知る。</li> <li>2. 呼吸機能障害の進展とその際の症候を理解し、呼吸機能改善の方策を知る。</li> <li>3. 心血管系の病態整理を学び、心機能障害について理解し、その治療法の原理を知る。</li> <li>4. 腎泌尿器系における機能障害について理解し、その管理方法を知る。</li> <li>5. 免疫不全の病態を理解し、治療法、管理方法について知る。</li> <li>6. リウマチ性疾患の概要と運動器障害の進展について理解する。</li> </ol> 病態では生活習慣(栄養、日常活動度、嗜好など)との関連を理解し、各疾患における一般療法の基本を学び、薬物療法におけるメカニズムと理学療法の基盤を理解する。		
関連科目	これまで学んだ、生理学、病理学の知識の延長に内科学はある。それぞれの疾患の履修前に、生理学・病理学の復習を進める。内科学1 は「内部障害学」の基盤をなす科目であり「内科学2」「内部障害理学療法学」に関連する。		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	50%	
	履修態度	50%	
教科書	①前田 眞治編 [2020 年] 「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野：内科学(第4版)」 医学書院		
参考書	①講義の中で最善のものを紹介する		
履修上の留意点	講義前に教科書の予習を行うこと。講義中適宜質問するので発言すること。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	内科学総論：内部障害とは、内科学とは、日本人の疾病構造	事後：資料の復習	講義	齋藤
2	循環器疾患①：心不全、虚血性心疾患、などの原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
3	循環器疾患②：不整脈、弁膜症、先天性心疾患などの原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
4	循環器疾患③：血管疾患、高血圧などの原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。心電図の理解	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
5	腎・泌尿器科疾患①：急性・慢性腎不全の原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃

6	腎・泌尿器科疾患②：各種腎炎、全身疾患による腎障害などの成因、病態、診断、治療を系統的に学習する。排尿障害について学ぶ。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
7	呼吸器疾患②：閉塞性・拘束性呼吸機能障害について原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
8	呼吸器疾患②：閉塞性・拘束性呼吸機能障害について原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
9	呼吸器疾患③：肺腫瘍、胸膜、縦隔疾患などの原因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
10	消化管疾患①：消化管疾患(食道疾患、胃・十二指腸疾患)の病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
11	消化管疾患②：消化管疾患(腸疾患)の病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
12	肝・胆・膵疾患：肝臓・胆道系疾患の病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
13	免疫疾患：HIV感染症、免疫不全の病態を系統的に学習する	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
14	リウマチ、自己免疫疾患①：自己免疫疾患の病態を理解する。関節リウマチ、SLEについて病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃
15	リウマチ、自己免疫疾患②：血管炎、全身性強皮症、皮膚筋炎、シェーグレン症候群などについて病因、病態、診断、治療、予後を系統的に学習する。	事前：教科書該当部位の予習 事後：資料の復習	〃	〃